

「工場管理実践塾」

成果報告会・概要紹介



当センターでは、本県のものづくり基盤を支える優れた産業人材を育成するため、17年度から新たに製造業に特化した「いわてものづくりアカデミー」を開催しています。

その中でも「工場管理実践塾」は目玉事業であり、集合研修の座学にとどまらず、参加企業の工場そのものを会場としてカイゼン活動を行うなど実践的コースとなっています。

約8ヶ月間にわたる長期研修では、5Sの定着方法、ムダ取りなど実際に現場カイゼンを行うための訪問研修やフォローアップを行うことにより、生産性が高く、納期保証・品質保証等が確かな工場へのレベルアップを目指します。

活動内容

今年度は5月16日から、(財)社会経済生産性本部の主席経営コンサルタント・武川俊幸氏と高田晴弘氏を講師を招き、3社(4チーム)8名の受講者により下記のとおり研修を実施しました。

集合研修

(5/16～17)

主な内容：メーカーにおける収益構造変革の着眼点、ダンゴ生産から流れ生産へ

訪問研修

第1回(6/4～6)、第2回(6/25～27)、第3回(8/27～29)、第4回(9/25～27)

主な内容：参加企業における具体的改善活動実施(基礎データ収集方法、ボトルネック解消による生産能力強化、段換え改善、かんぱん方式導入など、参加企業の課題に即したテーマを設定)

フォローアップ

中間フォローアップ(7/25～27)、最終フォローアップ(11/19)

主な内容：各社作成したプロジェクト企画書に基づき、改善活動を継続して行うため、講師が企業訪問及び集合研修によりフォローアップを実施

成果報告概要

成果報告会は12月13日(木)に行われ、各社プレゼン方式で行いました。報告会には受講者のほか各社の経営幹部、また今年度の5S実践基礎講座の受講企業なども参加し、その報告内容を真剣に聴き入っていました。各社の主な成果としては、「レイアウト変更による工程改善として、

- ① 30tプレス機のレイアウト変更⇒次工程供給時間3時間25分短縮、作業員1名の削減
- ② 半自動圧着機のレイアウト変更⇒月4.9時間の削減
- ③ 全自動圧着機のレイアウト変更⇒年間生産数19万本アップ、段取り時間56時間40分/年の短縮
- ④ 各工程のレイアウト変更⇒作業員17人が9人(8人削減)、設備12台が6台(6台削減)、移動距離128mが30.5m(97.5m削減)、工数1台当たり0.27MH削減」などが挙げられました。

さらに「作業の見直しによる工程改善として、残業と臨時職員の稼働時間が1/3削減」といった報告もあったことから、各社とも所定の現場カイゼンの成果が図られました。

今後、各社一丸となってこれまでの取り組みを定着・継続し、企業の現場カイゼンを図りながら更なるレベルアップがされることを期待しております。

●集合研修



●訪問研修

